

平成20年9月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年7月31日

上場会社名 日本エス・エイチ・エル株式会社 上場取引所 大証ヘラクレス市場
 コード番号 4327 URL <http://www.shl.co.jp/>
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 奈良 学
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役 氏名 中村 直浩 TEL (03)5385-8781

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年9月期第3四半期の連結業績 (平成19年10月1日 ~ 平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第3四半期	1,175	(9.2)	426	(22.0)	425	(21.4)	246	(24.9)
19年9月期第3四半期	1,077	(3.6)	349	(10.9)	350	(10.2)	197	(6.1)
19年9月期	1,652	—	707	—	714	—	425	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年9月期第3四半期	7,254	06	—	—
19年9月期第3四半期	5,806	35	—	—
19年9月期	12,497	61	—	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益」につきましては、希薄化効果を有している潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年9月期第3四半期	—	—	—	—	—
19年9月期第3四半期	2,064	1,825	88.4	53,645	40
19年9月期	2,438	2,053	84.2	60,322	77

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年9月期第3四半期	551	△99	△227	1,748
19年9月期第3四半期	435	△30	△188	1,486
19年9月期	473	△29	△190	1,524

2. 配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
(基準日)	円 銭	円 銭	円 銭
19年9月期	2,700 00	3,600 00	6,300 00
20年9月期	3,150 00		6,300 00
20年9月期(予想)		3,150 00	

3. 平成20年9月期の連結業績予想 (平成19年10月1日~平成20年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円	銭
通期	1,750 (5.9)	749 (5.9)	747 (4.7)	448 (5.4)	13,169	68

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
 新規 一社 除外 1 社（社名 株式会社イー・コーティング）
 当社は唯一の連結子会社であった株式会社イー・コーティングを平成 20 年 1 月 1 日付で吸収合併したため、当第 3 四半期連結会計期間末は連結子会社を有していません。このため、当第 3 四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表は作成していません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成基準： 中間連結財務諸表作成基準
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無
 (4) 会計監査人の関与： 無

5. 個別業績の概要（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 9 月期第 3 四半期	1,167	(13.6)	422	(31.2)	423	(28.9)	300	(62.8)
19 年 9 月期第 3 四半期	1,027	(2.4)	322	(7.2)	328	(6.6)	184	(4.8)
19 年 9 月期	1,563	—	648	—	662	—	391	—

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 9 月期第 3 四半期	8,842	29	—	—
19 年 9 月期第 3 四半期	5,431	14	—	—
19 年 9 月期	11,506	76	—	—

(注)「潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益」につきましては、希薄化効果を有している潜在株式がないため記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 9 月期第 3 四半期	2,391	2,067	86.4	60,756	29
19 年 9 月期第 3 四半期	2,026	1,792	88.5	52,672	82
19 年 9 月期	2,367	1,999	84.4	58,734	54

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、平成 20 年 9 月期の連結業績予想を修正しております。詳細は 4 ページ『【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報』をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）における売上高は 1,175 百万円（前年同期比 9.2%増）となり前年同期比 98 百万円増加しました。サービス形態別には、プロダクト売上高 467 百万円（前年同期比 4.0%減）、コンサルティング売上高 679 百万円（前年同期比 20.2%増）、トレーニング売上高 28 百万円（前年同期比 15.7%増）であります。

当第 3 四半期のコンサルティング売上高は前年同期比で 114 百万円増加しました。主な増加要因は、採用選考過程の顧客負担を大幅に軽減できる Web アセスメントツール（インターネット関連サービス）の積極的営業を展開した結果、「Web テスト」の顧客仕様版の販売が好調であったことであります。反面、プロダクト売上高は前年同期比で 19 百万円減少しました。これは、前連結会計年度に引続き、新規学卒者採用市場が依然売り手市場の様相を呈しており、顧客企業が「選考対象母集団」の形成に投資を集中させた結果、選考段階での当社プロダクトサービスへの需要が増加しなかったことが主な要因であります。トレーニング売上高は前年同期比で 3 百万円増加しました。

当第 3 四半期の営業利益は 426 百万円（前年同期比 22.0%増）であります。売上原価は 199 百万円（前年同期比 2.0%増）となり前年同期比で 3 百万円増加し、販売費及び一般管理費は 549 百万円（前年同期比 3.3%増）となり前年同期比で 17 百万円増加しましたが、売上高が前年同期比 98 百万円増加したことにより営業利益は前年同期比 76 百万円の増益となりました。販売費及び一般管理費が増加した主な要因は、研究開発費が前年同期比で 16 百万円減少しましたが、営業及び管理部門の人員拡充による人件費、販売促進関連費用、内部統制整備関連費用等を中心とした経費が前年同期比 34 百万円増加したことによります。

当第 3 四半期の経常利益は 425 百万円（前年同期比 21.4%増）であります。営業利益の増益に加えて、営業外収益が前年同期比で 1 百万円増加し、営業外費用が前年同期比で 3 百万円増加したため、経常利益は前年同期比 75 百万円の増益となりました。営業外収益の増加は、受取利息が増加したことが主な要因であり、営業外費用の増加は、ベンチャー企業向け投資事業有限責任組合への出資金が、投資損失を 3 百万円計上したことが主な要因であります。

当第 3 四半期の税金等調整前四半期純利益は 441 百万円（前年同期比 25.8%増）であります。経常利益の増益に加えて、前社長の逝去に伴う受取保険金 100 百万を特別利益に、社葬関連費用 12 百万円と役員退職慰労金 71 百万円を特別損失に計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は前年同期比 90 百万円の増益となりました。

以上に、法人税、住民税及び事業税等を計上した結果、当第 3 四半期の四半期純利益は 246 百万円（前年同期比 24.9%増）となり、前年同期比で 49 百万円の増益となりました。

サービス形態別の連結売上高内訳

(百万円未満切捨て)

期別 項目	19 年 9 月期第 3 四半期		20 年 9 月期第 3 四半期		対前年同期 増減率	(参 考) 平成 19 年 9 月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
プロダクト	486	45.2	467	39.7	△4.0	591	35.8
コンサルティング	565	52.5	679	57.8	20.2	1,033	62.5
トレーニング	24	2.3	28	2.5	15.7	27	1.7
合 計	1,077	100.0	1,175	100.0	9.2	1,652	100.0

(注) 上記表において使用しているプロダクト、コンサルティング、トレーニングという区分は、提供するサービスの形態別区分であります。当社グループは、プロダクトを使用して人材アセスメントサービスを提供するという単一事業を営むため、プロダクト生産時には、プロダクトがどのサービス形態で提供されるかは未定であり、サービスの形態別営業費用を区分して表示することは困難でありますので、売上高のみを記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社は唯一の連結子会社であった株式会社イー・コーチングを平成 20 年 1 月 1 日付で吸収合併したため、当第 3 四半期末の連結貸借対照表は作成しておりません。従いまして、財政状態につきましては、前事業年度末の貸借対照表と当四半期会計期間末の貸借対照表に基づき記載しております。連結損益計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結株主資本等変動計算書につきましては、平成 19 年 12 月 31 日までの株式会社イー・コーチングの経営成績及びキャッシュ・フローの状況を反映して作成しております。

(1) 財政状態の変動状況

当第 3 四半期末における財政状態について前事業年度末と比較いたしますと、資産の部では、現金及び預金が納税及び配当金の支払等があったものの、合併により子会社の現金及び預金を引き継いだこと、及び売掛金の回収がすすんだことにより増加しております。また、負債の部では、納税により未払法人税等が減少しており、前社長に対する役員退職慰労引当金が増加しております。純資産の部の利益剰余金は、合併により子会社の利益剰余金を引き継いだこと、及び当第 3 四半期の四半期純利益が計上されたことにより増加しております。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 224 百万円（14.7%）増加し、当第 3 四半期末には 1,748 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は 551 百万円（前年同期比 116 百万円増加）となりました。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前四半期純利益 441 百万円、売上債権の減少額 337 百万円があり、支出要因は法人税等の支払額 345 百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は 99 百万円（前年同期比 68 百万円増加）となりました。その主な内訳は、支出要因として定期預金の預入による支出 100 百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は 227 百万円（前年同期比 38 百万円増加）となりました。これは全額配当金の支払によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期の業績をもとにした通期業績予想が、前回発表予想を下回る見込みとなったため、平成 20 年 9 月期の連結業績予想を修正するものであります。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,854	800	802	478
今回修正予想 (B)	1,750	749	747	448
増減額 (B-A)	△104	△51	△54	△30
増減率 (%)	△5.6	△6.4	△6.8	△6.3
平成 19 年 9 月期実績	1,652	707	714	425

当第 3 四半期における連結経営成績は、前年同期比で売上高 9.2%増、営業利益 22.0%増となりましたが、当社の経営管理指標によると、顧客上位 100 社の売上が前年同期比で約 6%の増加にとどまり、当社の予想を下回っております。これは、顧客が大口契約に対して慎重になり契約締結に時間を要する傾向が見られ、翌年度の新規学卒者採用案件が主となる第 4 四半期においてもこの傾向は続く予想されます。そのため、売上高が前回発表予想に対して 104 百万円（5.6%）下回るものと見込んでおります。

この結果、平成 20 年 9 月期通期連結業績予想につきましては、売上高 1,750 百万円（前年同期比 5.9%増）、営業利益 749 百万円（前年同期比 5.9%増）、経常利益 747 百万円（前年同期比 4.7%増）、当期純利益 448 百万円（前年同期比 5.4%増）に修正いたします。

なお、配当金につきましては、前回発表予想に修正はなく年間配当金は 6,300 円とさせていただきます。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

4. その他

期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成 20 年 1 月 1 日付にて、当社の 100%出資子会社である株式会社イー・コーチングを吸収合併いたしました。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

当社は唯一の連結子会社であった株式会社イー・コーチングを平成 20 年 1 月 1 日付で吸収合併したため、当四半期連結会計期間末では連結子会社を有していません。このため、当四半期末の四半期連結貸借対照表は作成していません。

区分	注記 番号	前年同四半期末 (平成 19 年 9 月期 第 3 四半期末)		(参考)前期末 (平成 19 年 9 月期末)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1	現金及び預金	1,486,233		1,524,270	
2	受取手形及び売掛金	225,068		561,684	
3	たな卸資産	27,969		26,466	
4	繰延税金資産	18,852		29,052	
5	その他	5,423		6,449	
	流動資産合計	1,763,547	85.4	2,147,924	88.1
II 固定資産					
1	有形固定資産	65,223	3.2	63,754	2.6
2	無形固定資産				
	(1) 製品マスター	53,253		49,520	
	(2) 製品マスター仮勘定	15,193		12,312	
	(3) その他	6,339		5,860	
	無形固定資産合計	74,787	3.6	67,694	2.8
3	投資その他の資産				
	(1) 投資有価証券	71,530		68,151	
	(2) その他	89,483		91,425	
	投資その他の資産合計	161,013	7.8	159,577	6.5
	固定資産合計	301,024	14.6	291,026	11.9
	資産合計	2,064,571	100.0	2,438,950	100.0

区分	注記 番号	前年同四半期末 (平成 19 年 9 月期 第 3 四半期末)		(参考)前期末 (平成 19 年 9 月期末)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金		8,588		8,195	
2 未払費用		39,666		58,738	
3 未払法人税等		59,161		208,171	
4 未払消費税等		—		28,393	
5 役員賞与引当金		20,000		—	
6 その他	※ 1	43,671		13,823	
流動負債合計		171,086	8.3	317,323	13.0
II 固定負債					
1 退職給付引当金		28,629		28,874	
2 役員退職慰労引当金		23,981		24,607	
3 その他		15,000		15,000	
固定負債合計		67,610	3.3	68,481	2.8
負債合計		238,696	11.6	385,804	15.8
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金		581,067		581,067	23.8
2 資本剰余金		320,530		320,530	13.2
3 利益剰余金		918,455		1,146,199	47.0
株主資本合計		1,820,052	88.1	2,047,796	84.0
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金		5,822	0.3	5,349	0.2
評価・換算差額等合計		5,822	0.3	5,349	0.2
純資産合計		1,825,874	88.4	2,053,145	84.2
負債純資産合計		2,064,571	100.0	2,438,950	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

区分	注記 番号	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)		増 減		(参考)前期 (平成19年9月期)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		1,077,304	100.0	1,175,939	100.0	98,635	9.2	1,652,219	100.0
II 売上原価		195,985	18.2	199,966	17.0	3,981	2.0	248,308	15.0
売上総利益		881,319	81.8	975,973	83.0	94,653	10.7	1,403,910	85.0
III 販売費及び一般管理費	※1	531,418	49.3	549,174	46.7	17,756	3.3	696,245	42.2
営業利益		349,901	32.5	426,798	36.3	76,897	22.0	707,665	42.8
IV 営業外収益									
1 受取利息		865		2,762		1,896		2,321	
2 投資事業組合投資利益		—		—		—		3,922	
3 雑収入		79		100		20		190	
小計		945	0.1	2,862	0.2	1,917	202.9	6,435	0.4
V 営業外費用									
1 株式交付費		—		312		312		—	
2 為替差損		58		3		△55		67	
3 投資事業組合投資損失		31		3,541		3,509		—	
小計		89	0.0	3,856	0.3	3,766	4,187.3	67	0.0
経常利益		350,756	32.6	425,804	36.2	75,048	21.4	714,032	43.2
VI 特別利益									
1 受取保険金	※2	—		100,000		100,000		—	
小計		—	—	100,000	8.5	100,000	—	—	—
VII 特別損失									
1 固定資産除却損	※3	48		—		△48		224	
2 社葬関連費用		—		12,708		12,708		—	
3 役員退職慰労金	※4	—		71,825		71,825		—	
小計		48	0.0	84,533	7.2	84,484	172,710.1	224	0.0
税金等調整前 四半期(当期)純利益		350,707	32.6	441,271	37.5	90,563	25.8	713,807	43.2
法人税、住民税 及び事業税等	※5	153,082	14.2	194,371	16.5	41,289	27.0	288,439	17.5
四半期(当期)純利益		197,624	18.4	246,899	21.0	49,274	24.9	425,368	25.7

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)

(単位: 千円)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金	利益剰余金	株 主 資 本 合 計	その他有価証 券評価差額金	
平成18年9月30日残高	581,067	320,530	911,432	1,813,029	6,363	1,819,393
当四半期の変動額						
剰余金の配当			△98,704	△98,704		△98,704
剰余金の配当(中間)			△91,897	△91,897		△91,897
四半期純利益			197,624	197,624		197,624
株主資本以外の項目の当 四半期の変動額(純額)					△541	△541
当四半期の変動額合計	—	—	7,023	7,023	△541	6,481
平成19年6月30日残高	581,067	320,530	918,455	1,820,052	5,822	1,825,874

当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)

(単位: 千円)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金	利益剰余金	株 主 資 本 合 計	その他有価証 券評価差額金	
平成19年9月30日残高	581,067	320,530	1,146,199	2,047,796	5,349	2,053,145
当四半期の変動額						
剰余金の配当			△122,529	△122,529		△122,529
剰余金の配当(中間)			△107,213	△107,213		△107,213
四半期純利益			246,899	246,899		246,899
株主資本以外の項目の当 四半期の変動額(純額)					△2,401	△2,401
当四半期の変動額合計	—	—	17,156	17,156	△2,401	14,755
平成20年6月30日残高	581,067	320,530	1,163,355	2,064,952	2,948	2,067,901

(参考) 前期 (平成19年9月期)

(単位: 千円)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金	利益剰余金	株 主 資 本 合 計	その他有価証 券評価差額金	
平成 18 年 9 月 30 日残高	581,067	320,530	911,432	1,813,029	6,363	1,819,393
連結会計年度中の変動額						
剰 余 金 の 配 当			△98,704	△98,704		△98,704
剰余金の配当(中間)			△91,897	△91,897		△91,897
当 期 純 利 益			425,368	425,368		425,368
株主資本以外の項目 の連結会計年度中 の変 動 額 (純 額)					△1,014	△1,014
連 結 会 計 年 度 中 の 変 動 額 合 計	—	—	234,767	234,767	△1,014	233,752
平成 19 年 9 月 30 日残高	581,067	320,530	1,146,199	2,047,796	5,349	2,053,145

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		前四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	(参考)前期 (平成19年9月期)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー				
1		350,707	441,271	713,807
2		38,089	28,200	50,968
3		△865	△2,762	△2,321
4		—	—	224
5		4,188	1,525	4,433
6		1,504	82,246	2,131
7		△17,000	—	△37,000
8		349,701	337,771	13,085
9		△2,877	△1,177	△1,374
10		1,263	184	237
11		1,406	△2,391	1,014
12		—	△100,000	—
13		△5,111	10,232	12,586
		小計	721,006	795,101
			795,101	757,792
14		865	2,250	2,321
15		—	100,000	—
16		△286,652	△345,963	△287,117
17		21	15	21
		営業活動による キャッシュ・フロー	435,241	551,403
			551,403	473,018
II 投資活動による キャッシュ・フロー				
1		—	△100,000	—
2		△23,829	—	△24,242
3		△16,446	△2,609	△20,526
4		9,300	3,000	15,700
		投資活動による キャッシュ・フロー	△30,975	△99,609
			△99,609	△29,068
III 財務活動による キャッシュ・フロー				
1		△188,915	△227,485	△190,561
		財務活動による キャッシュ・フロー	△188,915	△227,485
			△227,485	△190,561
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額				
		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額				
		215,350	224,309	253,388
VI 現金及び現金同等物の期首残高				
		1,270,882	1,524,270	1,270,882
VII 現金及び現金同等物の第3四半期末 (期末)残高				
	※1	1,486,233	1,748,580	1,524,270

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年10月1日 至平成19年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成20年6月30日)	前連結会計年度 (自平成18年10月1日 至平成19年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項	(1) 連結子会社の数 1社 連結子会社の名称 株式会社イー・コーチング (2) 非連結子会社 該当する会社はありません。	(1) 連結子会社の数 1社 連結子会社の名称 1社 当社は唯一の連結子会社であつた株式会社イー・コーチングを平成20年1月1日付で吸収合併いたしました。平成19年12月31日までの株式会社イー・コーチングの経営成績を四半期連結財務諸表に含めております。 (2) 非連結子会社 同左	(1) 連結子会社の数 1社 連結子会社の名称 株式会社イー・コーチング (2) 非連結子会社 同左
2. 持分法の適用に関する事項	該当する会社はありません。	同左	同左
3. 連結子会社の事業年度等に関する事項	連結子会社の第3四半期決算日は、第3四半期連結決算日と一致しております。	—	連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。
4. 会計処理基準に関する事項	(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法 ① その他有価証券 時価のないもの 投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資(証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。 ② たな卸資産 製品 総平均法による原価法 半製品・貯蔵品 総平均法による原価法 仕掛品 個別法による原価法	(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法 ① その他有価証券 時価のないもの 投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資(金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。 ② たな卸資産 同左	(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法 ① その他有価証券 時価のないもの 同左 ② たな卸資産 同左

	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年10月1日 至平成19年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成20年6月30日)	前連結会計年度 (自平成18年10月1日 至平成19年9月30日)
	<p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 定率法 耐用年数 建物 8年-39年 工具器具備品 2年-15年</p> <p>(会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。</p> <p>②無形固定資産 製品マスター 見込利用可能期間(主として5年)による定額法 ソフトウェア(自社利用) 社内における見込利用可能期間(5年)による定額法</p> <p>(3) 繰延資産の処理方法 —</p> <p>(4) 重要な引当金の計上基準 ①役員賞与引当金 役員に対する賞与の支給に備えるため、当連結会計年度末における支給見込額のうち当第3四半期連結会計期間において負担すべき額を計上しております。</p>	<p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 平成19年3月31日以前に取得したもの…旧定率法 平成19年4月1日以降に取得したもの…定率法 耐用年数 建物及び構築物 8年-39年 工具器具備品 2年-15年</p> <p>(追加情報) 法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度から、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。</p> <p>②無形固定資産 同左</p> <p>(3) 繰延資産の処理方法 株式交付費 支出時に全額費用として処理しております。</p> <p>(4) 重要な引当金の計上基準 ①役員賞与引当金 —</p> <p>(追加情報) 前第3四半期連結会計期間においては、役員に対する賞与の支給に備えるため、前連結会計年度末における支給見込額のうち、前第3四半期連結会計期間において負担すべき額を計上していましたが、平成19年11月16日開催の取締役会において役員賞与制度の廃止を決議したため、当第3四半期連結会計期間より役員賞与引当金の計上は行っておりません。</p>	<p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>①有形固定資産 定率法 耐用年数 建物及び構築物 8年-39年 工具器具備品 2年-15年</p> <p>(会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。</p> <p>②無形固定資産 同左</p> <p>(3) 繰延資産の処理方法 —</p> <p>(4) 重要な引当金の計上基準 ①役員賞与引当金 役員に対する賞与の支給に備えるため、当連結会計年度末における支給見込額を計上しております。</p> <p>(追加情報) 当連結会計年度末には役員賞与を支給しないこととしたため、当連結会計年度中に計上していた役員賞与引当金を取崩しております。なお、平成19年11月16日開催の取締役会において役員賞与制度の廃止が決議されております。</p>

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年10月1日 至 平成19年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年10月1日 至 平成19年9月30日)
	<p>②退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当第3四半期連結会計期間末における退職給付債務に基づき計上しております。なお、退職給付債務は、簡便法(退職給付に係る当第3四半期連結会計期間末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法)により計算しております。</p> <p>③役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支払に充当するため、内規に基づく当第3四半期連結会計期間末要支給額を計上しております。</p> <p>(5) 重要なリース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>(6) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。</p>	<p>②退職給付引当金 同左</p> <p>③役員退職慰労引当金 同左</p> <p>(5) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(6) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項 消費税等の会計処理 同左</p>	<p>②退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務に基づき計上しております。なお、退職給付債務は、簡便法(退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法)により計算しております。</p> <p>③役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支払に充当するため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p> <p>(5) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項 消費税等の会計処理 同左</p>
5. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (連結キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲	<p>四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。</p>	同左	<p>連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。</p>

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

前第 3 四半期連結会計期間末 (平成 19 年 6 月 30 日)	前連結会計年度 (平成 19 年 9 月 30 日)
※ 1 消費税の取扱い 仮受消費税等と仮払消費税等は相殺のうえ、金銭的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。	※ 1 —

(四半期連結損益計算書関係)

前第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 18 年 10 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 19 年 10 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)	前連結会計年度 (自 平成 18 年 10 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
※ 1 販売費及び一般管理費のうち 主要な費目及び金額は次のとおり であります。 ロイヤルティ 23,795 千円 給料手当 149,855 千円 役員賞与引当金繰入額 20,000 千円 退職給付費用 3,958 千円 役員退職慰労引当金繰入額 1,504 千円 賃借料 64,749 千円	※ 1 販売費及び一般管理費のうち 主要な費目及び金額は次のとおり であります。 ロイヤルティ 24,363 千円 給料手当 156,065 千円 退職給付費用 4,651 千円 役員退職慰労引当金繰入額 10,571 千円 賃借料 68,819 千円	※ 1 販売費及び一般管理費のうち 主要な費目及び金額は次のとおり であります。 ロイヤルティ 34,842 千円 給料手当 199,677 千円 退職給付費用 4,950 千円 役員退職慰労引当金繰入額 2,131 千円 賃借料 85,812 千円
※ 2 —	※ 2 受取保険金 100,000 千円は前 代表取締役社長の逝去による ものであります。	※ 2 —
※ 3 固定資産除却損の内訳 工具器具備品 48 千円	※ 3 —	※ 3 固定資産除却損の内訳 工具器具備品 48 千円 製品マスター 175 千円
※ 4 —	※ 4 役員退職慰労金 71,825 千円は 前代表取締役社長に対する功 労金及び弔慰金であります。	※ 4 —
※ 5 税効果会計の適用にあたり 「簡便法」を採用してありま すので、法人税等調整額を含 めた合計金額をもって記載し ております。	※ 5 同左	※ 5 —

(四半期連結株主資本等変動計算書関係)

前年同四半期 (平成 19 年 9 月期 第 3 四半期)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当第 3 四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	34,036	—	—	34,036
合計	34,036	—	—	34,036

2 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成 18 年 12 月 23 日 定時株主総会	普通株式	98,704	2,900	平成 18 年 9 月 30 日	平成 18 年 12 月 25 日
平成 19 年 5 月 1 日 取締役会	普通株式	91,897	2,700	平成 19 年 3 月 31 日	平成 19 年 6 月 4 日

当四半期 (平成 20 年 9 月期 第 3 四半期)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当第 3 四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	34,036	—	—	34,036
合計	34,036	—	—	34,036

2 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成 19 年 12 月 22 日 定時株主総会	普通株式	122,529	3,600	平成 19 年 9 月 30 日	平成 19 年 12 月 25 日
平成 20 年 4 月 30 日 取締役会	普通株式	107,213	3,150	平成 20 年 3 月 31 日	平成 20 年 6 月 2 日

前期 (平成 19 年 9 月期)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	34,036	—	—	34,036
合計	34,036	—	—	34,036

2 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成 18 年 12 月 23 日 定時株主総会	普通株式	98,704	2,900	平成 18 年 9 月 30 日	平成 18 年 12 月 25 日
平成 19 年 5 月 1 日 取締役会	普通株式	91,897	2,700	平成 19 年 3 月 31 日	平成 19 年 6 月 4 日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成 19 年 12 月 22 日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	122,529	3,600	平成 19 年 9 月 30 日	平成 19 年 12 月 25 日

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年10月1日 至 平成19年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年10月1日 至 平成19年9月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 1,486,233 千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 — 現金及び現金同等物 1,486,233 千円	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と当社の四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 1,848,580 千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 <u>△100,000 千円</u> 現金及び現金同等物 <u>1,748,580 千円</u>	※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 1,524,270 千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 — 現金及び現金同等物 <u>1,524,270 千円</u>

(重要な後発事象)

前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年10月1日 至 平成19年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年10月1日 至 平成19年9月30日)
—	—	株式会社イー・コーチングとの合併 平成19年11月16日開催の取締役会において、当社の100%出資子会社である株式会社イー・コーチングを吸収合併することを決議いたしました。 1. 合併の目的 株式会社イー・コーチングは、会社設立後、4事業年度を経過し、最近2事業年度は、黒字基調で推移し事業基盤も整ってまいりましたが、今後のヒューマン・アセスメント事業の展開を考慮いたしますと、以下の三つの理由により、子会社として存続させるよりも親会社に取り込む方がより事業の発展が見込めると判断いたしました。 (1) 子会社では100名以上のアセッサー(評価代行実施者)を擁する実務体制が整った。今後、より規模の大きなアセスメント・プロジェクトを取り込むためには、子会社の信用で営業を行うよりも、親会社の信用で営業した方がよい。 (2) 事業の拡大を目指す上で質の高い人員の増強が必須である。子会社としての採用力は限界があり、親会社と一体化した方がよい。 (3) 子会社の経営管理コストの削減

前第 3 四半期連結会計期間 (自 平成18年10月 1 日 至 平成19年 6 月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自 平成19年10月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年10月 1 日 至 平成19年 9 月30日)
		<p>減効果が期待できる。</p> <p>2. 合併の期日 平成 20 年 1 月 1 日</p> <p>3. 合併の形式 当社を存続会社、株式会社イー・コーチングを消滅会社とする吸収合併とする。消滅会社は当社の 100%出資子会社であるため、合併による新株の発行及び資本金の増加は行わない。</p> <p>4. 財産の引継 合併期日において株式会社イー・コーチングの資産・負債及び権利義務の一切を引き継ぐ。</p> <p>5. 被合併会社の概要</p> <p>(1)事業の内容 アセスメントセンターの実施支援、360 度評価法の導入支援、各種評価代行サービス</p> <p>(2)売上高 (平成 19 年 9 月期) 168,645 千円</p> <p>(3)当期純利益 (平成 19 年 9 月期) 33,724 千円</p> <p>(4)純資産 (平成 19 年 9 月末) 104,056 千円</p> <p>(5)総資産 (平成 19 年 9 月末) 134,897 千円</p> <p>(6)従業員数 7 名</p>

6. 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

区分	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)		増 減		(参考)前期末 (平成19年9月期末)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金	1,410,456		1,848,580		438,123		1,445,378	
2 売掛金	213,164		223,978		10,814		519,695	
3 たな卸資産	27,335		27,643		308		26,420	
4 その他	24,071		27,165		3,094		34,916	
流動資産合計	1,675,027	82.7	2,127,368	88.9	452,340	27.0	2,026,411	85.6
II 固定資産								
1 有形固定資産	65,223	3.2	59,038	2.5	△6,184	△9.5	63,754	2.7
2 無形固定資産								
(1) 製品マスター	53,253		35,521		△17,732		49,520	
(2) その他	21,533		11,297		△10,235		18,173	
無形固定資産合計	74,787	3.7	46,818	2.0	△27,968	△37.4	67,694	2.9
3 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	71,530		57,486		△14,043		68,151	
(2) 関係会社株式	50,000		—		△50,000		50,000	
(3) その他	89,433		100,813		11,380		91,259	
投資その他の資産合計	210,963	10.4	158,300	6.6	△52,663	△25.0	209,411	8.8
固定資産合計	350,973	17.3	264,157	11.1	△86,816	△24.7	340,860	14.4
資産合計	2,026,001	100.0	2,391,525	100.0	365,524	18.0	2,367,272	100.0

区分	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)		増減		(参考)前期末 (平成19年9月期末)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)								
I 流動負債								
1 買掛金	11,169		5,804		△5,364		10,686	
2 未払費用	37,503		48,585		11,081		55,456	
3 未払法人税等	57,647		57,615		△31		197,488	
4 役員賞与引当金	20,000		—		△20,000		—	
5 その他	39,434		59,365		19,931		36,464	
流動負債合計	165,754	8.2	171,371	7.2	5,616	3.4	300,096	12.7
II 固定負債								
1 退職給付引当金	28,494		30,399		1,905		28,604	
2 役員退職慰労引当金	23,981		106,854		82,873		24,482	
3 その他	15,000		15,000		—		15,000	
固定負債合計	67,475	3.3	152,253	6.4	84,778	125.6	68,086	2.9
負債合計	233,229	11.5	323,624	13.6	90,395	38.8	368,183	15.6
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金	581,067	28.7	581,067	24.3	—	—	581,067	24.6
2 資本剰余金								
資本準備金	320,530		320,530		—		320,530	
資本剰余金合計	320,530	15.8	320,530	13.4	—	—	320,530	13.5
3 利益剰余金								
(1) 利益準備金	19,500		19,500		—		19,500	
(2) その他利益剰余金								
繰越利益剰余金	865,852		1,143,854		278,002		1,072,641	
利益剰余金合計	885,352	43.7	1,163,355	48.6	278,002	31.4	1,092,142	46.1
株主資本合計	1,786,949	88.2	2,064,952	86.3	278,002	15.6	1,993,739	84.2
II 評価・換算差額等								
その他有価証券 評価差額金	5,822	0.3	2,948	0.1	△2,873	△49.4	5,349	0.2
評価・換算差額等合計	5,822	0.3	2,948	0.1	△2,873	△49.4	5,349	0.2
純資産合計	1,792,772	88.5	2,067,901	86.4	275,129	15.3	1,999,088	84.4
負債純資産合計	2,026,001	100.0	2,391,525	100.0	365,524	18.0	2,367,272	100.0

(2) 四半期損益計算書

区分	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)		増減		(参考)前期 (平成19年9月期)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	1,027,918	100.0	1,167,296	100.0	139,377	13.6	1,563,256	100.0
II 売上原価	193,941	18.9	201,307	17.2	7,366	3.8	244,893	15.7
売上総利益	833,976	81.1	965,988	82.8	132,011	15.8	1,318,362	84.3
III 販売費及び一般管理費	511,880	49.8	543,404	46.6	31,523	6.2	670,025	42.8
営業利益	322,095	31.3	422,583	36.2	100,487	31.2	648,337	41.5
IV 営業外収益	6,694	0.7	4,887	0.4	△1,807	△27.0	14,135	0.9
V 営業外費用	89	0.0	3,856	0.3	3,766	4,187.3	67	0.0
経常利益	328,700	32.0	423,614	36.3	94,913	28.9	662,405	42.4
VI 特別利益	—	—	154,508	13.2	154,508	—	—	—
VII 特別損失	48	0.0	84,533	7.2	84,484	172,710.1	224	0.0
税引前四半期(当期) 純利益	328,651	32.0	493,588	42.3	164,937	50.2	662,180	42.4
法人税、住民税 及び事業税等	143,797	14.0	192,632	16.5	48,835	34.0	270,536	17.3
四半期(当期)純利益	184,854	18.0	300,956	25.8	116,101	62.8	391,644	25.1

(3) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)

(単位:千円)

	株 主 資 本				株 主 資 本 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金				
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金			
平成18年9月30日残高	581,067	320,530	19,500	871,599	1,792,697	6,363	1,799,061
当四半期の変動額							
剰余金の配当				△98,704	△98,704		△98,704
剰余金の配当(中間)				△91,897	△91,897		△91,897
四半期純利益				184,854	184,854		184,854
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						△541	△541
当四半期の変動額合計	—	—	—	△5,747	△5,747	△541	△6,288
平成19年6月30日残高	581,067	320,530	19,500	865,852	1,786,949	5,822	1,792,772

当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)

(単位:千円)

	株 主 資 本				株 主 資 本 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金				
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金			
平成19年9月30日残高	581,067	320,530	19,500	1,072,641	1,993,739	5,349	1,999,088
当四半期の変動額							
剰余金の配当				△122,529	△122,529		△122,529
剰余金の配当(中間)				△107,213	△107,213		△107,213
四半期純利益				300,956	300,956		300,956
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						△2,401	△2,401
当四半期の変動額合計	—	—	—	71,213	71,213	△2,401	68,812
平成20年6月30日残高	581,067	320,530	19,500	1,143,854	2,064,952	2,948	2,067,901

(参考) 前事業年度 (平成19年9月期)

(単位: 千円)

	株 主 資 本				株 主 資 本 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			そ の 他 有 価 証 券 評 価 額 金	
		資本準備金	利益準備金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金			
平成18年9月30日残高	581,067	320,530	19,500	871,599	1,792,697	6,363	1,799,061
事業年度中の変動額							
剰余金の配当				△98,704	△98,704		△98,704
剰余金の配当(中間)				△91,897	△91,897		△91,897
当期純利益				391,644	391,644		391,644
株主資本以外の項目 の事業年度中の 変動額(純額)						△1,014	△1,014
事業年度中の変動額合計	—	—	—	201,042	201,042	△1,014	200,027
平成19年9月30日残高	581,067	320,530	19,500	1,072,641	1,993,739	5,349	1,999,088